

総務産業常任委員会記録

日 時 令和8年1月27日（火曜日）13時30分～14時06分

場 所 議員控室

出席者 小寺委員長、工藤副委員長、金木委員、逢坂委員、村田議長
笹浪建設課長、石垣建設課管理係主査

オブザーバー 阿部議員、磯野議員、舟見議員、村上議員、平山議員

事務局 鈴木局長、嶋元係長

小寺委員長

それでは、総務産業常任委員会を行いたいと思います。

今回は、休会中の調査事項には入っていませんでしたが、急遽緊急の要件ということで建設課からの要請で除排雪業務についてを調査したいと思います。

それでは、笹浪課長からお願いいたします。

1 除排雪業務について

説明員 建設課 笹浪課長、石垣管理係主査

笹浪建設課長 13:31～13:33

このたびは、お忙しい中、総務産業常任委員会において除排雪事業に係る説明の機会をいただきましたことを感謝申し上げます。

この冬は、例年に比べ12月の降雪量が少なく、12月の末の段階で平均値の2割ほどの積雪量であり、少雪の年ではないかと思っておりましたが、1月に入り、10センチ以上の降雪が続いたほか、最大風速10メートル以上の強風の日が多く発生し、ほぼ毎日除雪作業となっております。報道等でも1月21日から10年に1度の寒波になると注意喚起されておりましたが、当町も少なからずその影響を受けたと思われます。

また、排雪作業を例年同様に1月13日から実施しておりますが、1月17日には日の降雪量が31センチ、21日には24センチとなり、1月21日には積雪の深さが平年値を超える状況となっております。

このことから、現在も排雪作業を継続しておりますが、今後の降雪と除排雪業務を予測した際、予算の不足が想定されますことから、本日は市街地区における除排雪業務の状況と今後の予測を踏まえた補正予算の必要性について説明をさせていただくところで

あります。

それでは、担当より説明を行います。説明は着席し、行いますことをご了承願います。よろしくお願いいたします。

石垣建設課管理係主査 13:33～13:36

それでは、令和7年度の除排雪事業についてのご説明をさせていただきます。

初めに、資料1ページ目、1月前期、15日分までの除排雪事業の稼働実績について説明させていただきます。令和7年度は、市街地区の除排雪及び原野地区合計で560日、1,880時間と今現状なっております。降雪の多かった令和6年度に比較すると、日数にして105日、時間にして1,249時間50分減少しております。

今後の見込みとして、別紙の気象データのほうを見ていただきますと、1月22日現在までの数字ですが、降雪量が193センチと昨年の1月以上の降雪量となっておりますことから、今後は平年並みの降雪量が続く想定しまして、1月後期から3月末までの今後の見込みを過去5年間の最大、最少を除く3年間の平均にて積算しまして、トータル1万907時間として想定しております。それに伴いまして、補正額等を後ほどご説明させていただきます。

次に、(2)の離島地区でございますが、こちらも令和7年度は令和6年度に比べ減少しているような形です。

次に、2番、令和7年度の間合せ等の件数ですが、令和8年1月23日現在で令和7年度は10件となっており、内訳として除雪依頼が4件、排雪依頼が2件、置き雪が1件、路面整正が1件、物品破損が1件、その他1件という内訳になっております。

次に、資料の裏面、3の令和7年度の委託料見込額についてですが、当初予算額が1億5,559万9,000円の中で市街・原野地区ほかそれぞれ記載されている契約額という形になっておりまして、今後市街・原野地区の委託料につきましては先ほどの積算した想定時間にて計算したところ4,170万1,000円ほど不足することから、現在予算残額96万6,000円を差引きしまして4,073万5,000円ほど補正対応にて増額したいと考えております。

なお、増額補正の主な要因といたしましては、先ほどの稼働実績でも少し説明しておりますが、12月までの降雪量は少ないものの、1月からの降雪量は22日現在でも昨年を超えた降雪量でございますので、今後は平年並みの降雪量というところを想定しましてこのような結果となっております。

今現在降雪量、資料を作る段階で22日現在としておりますけれども、昨日の段階で212センチまで降雪量のほう伸びております。

以上なのですが、簡単ではございますが、除排雪事業に関する説明とさせてい

たきます。

以上です。

小寺委員長

それでは、質疑のほうに移りたいと思います。質疑のある委員は、挙手にてよろしく
お願いいたします。

－主な協議内容等（質疑）－ 13:36～14:06

工藤副委員長 これに対しての議会は、いつ頃開く予定でいるのか。

笹浪課長 2月の12日と聞いております。

金木委員 補正となるのは、そういう状況なので、仕方がないところではあると思う
のですけれども、年々人件費とかの単価とか、燃料代とかもここ何日
かは下がっているかもしれませんが、補正を組まなければならなくなっ
た要因は稼働日数とか積雪量だけではなくて、そういう諸経費も値上が
っているということも要因の一つだというふうに捉えていいのかどうか、
その辺お願いしたいと思います。

笹浪課長 全体的な金額の高騰というのはあるのですが、今回は当初見ている排雪
の時間数というのが1,370時間しか見ておりませんので、538時間昨日現
在で使用している段階でありまして、残り832時間程度しか残っていない
ということで、毎年1月、2月、2月の末から3月と3回ぐらい多いと
きでやっているのですけれども、それを見込んだときに排雪と除雪の時
間が足りないということで、今回補正の原因としてはそういうことであ
ります。

逢坂委員 補正は、今金木委員が言うとおりのいろんなものが絡み合っただけの補正だと思
うので、それはいいとして、今後排雪を、降雪量によると思うのだけ
れども、何回ぐらいの予定、例えば2月、3月にかけて予定されている
のか。

笹浪課長 先ほど言ったように、例年12月の25日頃からちょこっと神社周辺とか人の行き交うところが多ければ1回目をやっております。その後1月の13日頃から2月の頭程度で1回終えて、その後さらに2月の中旬から3月上旬という、大体そんなパターンで行っております。

逢坂委員 そうすると、排雪については、今後多くても少なくとも大体2回ということで理解していいですか。

笹浪課長 そうです。

逢坂委員 分かりました。これについては、これからの雪の降り方にもよると思うので、また豪雪なんて降れば補正ということもあり得ると思うので、それは一旦置いておいて、別なほうでお聞きしたいというか、1点、要望になると思うのですけれども、来年に向けてというか、今年はちょっと無理だと思うのですけれども、私有地、民有地、あるいは例えば空き家になったところの空き地とかのところに雪捨てをできないかなど。単純に言うと、空き地になったところに、民有地、私有地のところに自分でダンプで持っていったり、そういうところの活用、去年もたしか言っていたと思うのですけれども、その辺について今年はもう既に雪が降ってしまったので、そういうのはなかなか把握できないと思うのですけれども、来年に向けて、今年の12月からに向けて、要するに空いているところに雪を投げれるような、例えばただで貸してくれる善意の方がいれば大変うれしいけれども、ただで貸してくれるといったら、投げると後始末を春になるとしなければならぬので、町で例えばそういうところを調べ上げて、1件1件当たっても大変だと思うのだけれども、できればそういうのを活用、要するに空き地の活用、除雪のときの、そういうのを今後検討してもらえないかなと思うのですけれども、その辺は今すぐでなくて結構なので、今年の秋に向けて考えていただければなと思うのですけれども、その辺はどうですか。

笹浪課長 この話は、多分数年前にも出ていたと思われるのですが、民地を町が借りて雪を押した場合は多分後からの雪の置き方によってとか解けたときの状況を考えると水が民地のほうに、家もとに行くとか、いろんな現象

が考えられる、ごみが散乱するとか、それで町として借りるのはできませんよねってたしか答えていたと思われるのですが、あとは町内会サイドで空き地を借りるとか、そういうのはいいのかもしれないですけども、行政がそこを借りますよとかというのはできないというような判断をしていたのでなかったかなと思います。すみません。今分かっている範囲で答えたのですけれども。

逢坂委員

それは、僕も言った記憶もあるので、何年か前に、それはなかなかできないよ、難しいということなので、それは理解できるのですけれども、例えば何かの機会に善意でいいよというところも出てくるのでないかと思うので、そういうところを役場のほうで、町のほうで広報だとか何かで周知して、土地を貸してくれませんかとか、いろんなアイデアを出して、なかなかただで貸してくれるというところは出てこないと思うけれども、いいよというところもあると思うのだ、万が一。そういうことも含めて今後もまた、なかなか難しいというのは分かるのだけれども、再度もう一回いろんな形でアイデアを出して検討していただければなと思うのですけれども、その辺はどうですか、今後について。例えば広報だとか周知して、空き地に投げていいよとかいうようなことで出して公募するというのは何か変ですけれども、そういうようなことも考えたほうがいいのでないかなと思うのだけれども、だんだん空き地も増えていくと思うので、できればそういうようなことも考えたほうがいいのかなと思うのだけれども。

笹浪課長

やっぱりそこに行政が関わるのがいいのか悪いのか判断つきませんけれども、以前はたしかそういういろいろなものが出てきて町がまたそこでお金を出してやっていくというのがいいのかどうかという判断に戻ったときに町がそういうことをするべきではないのかなって、先ほど言ったように町内会サイドで空き地があればそこ貸してくださいとかという意味合いで、例えば除雪の雪をどうしても置くところがなくて置きますよという場が今の民間というか、委託業者のほうである程度土地の方に了承を得て投げているところもあるのです。だから、そういうところに民間の方も置いているときもあるだろうし、そこまで行政が介入すべきではないのかなって思うのですけれども。

村田議長

関連なのだけれども、今逢坂委員が言っている部分の、そのとおりなのですけれども、1月に商工会との意見交換会をしたときの段階で、今それこそ民間というか、組合でなくて個人で直接個人の家から排雪したりしていて、ちっちゃいタイヤショベルと軽トラのダンプみたいので運んだりする、そういう人方もいてなかなか朝日の団地までとか行くのに大変な思いとかがあったりするものだから、今民有地の空いているところ、そういうところに捨てられるのであれば助かるのだよねという、そういうお話があったので、今課長が言った町としてはそれをやるとなると後始末のことから、それこそごみのことからいろんなことがあるので、多分駄目だと思うのですけれども、そこを促すためにさっき言った町内会単位で、そこで例えばそうやって運ぶ軽トラの雪を民地の空き地に投げてでもいいですよというような、町内会の中でそういうことができれば、一個でも二個でもできればそうやってやっている人方も助かるし、それをお願いしている人も助かるよねというようなことで、そういう話があったものだから、今逢坂委員がそういう絡みも含めてどうですかねという話をしていると思うので、課長言ったとおり、私も思います。行政から民地を借りて云々ということは、多分それは不可能だと思います。なので、先ほど言った町内会単位とか方面区単位でそういうことができればまたちょっと冬にそういう携わっている人方は楽になるのかなというのは、そういうこともあったよね、しているときね。(はい。の声)なので、考えられる方法ないですかねということなのです。(答弁に困る。の声) いや、難しいのは分かっているのです。でも、そういう意見もあったから、それを町内会単位で個々をお願いしてやってくださいというのであればどういう形で促すのがいいのか、それは私にもなかなか答えがないのですけれども、もし来年に向けて考えていただけるのであれば、頭ひねってみますという、こういう答弁でもいただければ。

笹浪課長

今ご意見として伺いましたけれども、どこどこの空き地が空いているというのはこちらのほうでも把握はある程度できるのかなと思うのですけれども、ただそれが都会に行っていないとか不明の土地だとかも結構あると思うし、その辺分かりませんが、ただ、今議長言われたように、今ショベルとかダンプで皆さんいろいろなところに投げているので

すけれども、かなりの量を積み上げているものだと思うるので、普通のママさんダンプ等に入れる分にはそんなにたまらないですけれども、業者的な存在の方がそういうふうにやられるというのはうちで言う指定されている捨場に持って行って投げてくださいねというのが筋なのかなと思うのですけれども、業者さんは近場に置きたいというのは分かるのですけれども、うちとしてもそこまで企業の方というか、どういう方なのか分からないですけれども、頼まれている人にはうちで指定している場所に投げてくださいというのが今現在の考えかなって思います。あと、町内会サイドで困った、そういうのであればどうでしょうねという相談乗れるのかちょっと分かりませんがという答えしか言えないと思うのですけれども、よろしいでしょうか。

逢坂委員

もう一件、すみません。またこれちょっと別、今やっている最中の排雪の仕方について聞きたいのですけれども、実はどこって言いませんけれども、排雪していて、片側に集めてローダーでダンプに積むという形の排雪の仕方、両方から取っていくのではなくて、片側に集めてやっていく方法でやっているのではないかなと思うのですけれども、そうするとある人にちょっと言われたのだけれども、片方のほうはきれいに取っていくのだけれども、うちの前にローダーで押していったやつ取ってくれなくて結果的に幾らか残ったやつ、それをローダーで引っ張ってくれて片側に寄せるのならいいけれども、そのまんまにしておいて片側だけずっと排雪をしていっている状態なのだよ、そう言われたのです。ですから、できれば片側もしやるとすれば、うちの前の出入口の部分に置いていった雪ぐらいはタイヤショベルか何かで引っ張って、ぐっと削って片側に寄せて、そして排雪をしてあげたらいいのかなと思うのだけれども、その辺は建設課のほうではなかなか指導というか、現場見ていないから分からないと思うのだけれども、私も1回見に行ったのだけれども、うちの前に残しているのだ。せっかく片方はきれいになって取っていつているのに、そのうちのそこだけは手で出して、そこちょっとタイヤショベルか何かで引っ張ってあげたら簡単にできるのだけれども、そういう排雪の仕方やっているところもあったので、その辺も含めて今すぐなかなか言いづらいのかなと思うので、来年に向けて、来年というか、今年の秋に向けてぜひそういうことないようにできれば取ってあげてほしいな

と思います。これも要望です。

笹浪課長 分かりました。私の思いとしては、多分そっちに残さないようにある程度かき出しはしているのかなって思っていたものですから、その辺現場の者と今後そういうことのないような形で、そのときだけだったのか、その辺も分かりませんが、その辺確認させてもらって来年以降あまり町民に迷惑かけないような排雪のやり方考えていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

逢坂委員 分かりました。それで、それは実際にあった、僕も見て写真撮ってきているから。せっかく排雪しているのに、そのうちの前の出入口ぐらいは取ってあげるべきだと僕は思うので、無理なことではないと思うので、簡単なことだと思うので、例えば山盛りのところをそこを取って崩していけという話でなくて、玄関の出入口ぐらい、そのぐらいは取ってあげて、そして排雪すればいいのかなと思うので、ぜひそういったこと、よろしくその辺。確認というか、要望です。よろしくお願いします。

金木委員 私、補正額に絡んで、4,000万余りですけれども、これは当然急がれるものですから、恐らく財源は基金を崩すことになるのかなと思いますが、例年国のほうでもこういうような豪雪時には、あるいは豪雪地帯には特別交付金が出されていると思うのです。今年ぐらいの状況であれば、多分出るのかなという期待もあるのですが、その辺の状況もしも入っていればお聞きしたいと思います。

笹浪課長 今現在は、まだその調査的なものというか、交付金の調べのほうは昨日今現在の速報値教えてくれということで来ていましたけれども、特交に結びつくかどうかというまでの判断にはまだ達していないのかなと思います。去年は、たしかもらっていたはずなのですが、今年の状況がそこに該当するかどうかというのはまだ今時点では分かりません。

村田議長 ここの2番目の問合せの関係で、私も町民の方から何人かに言われた部分だけ、直接私は電話してもいいのだよって言ったのですけれども、かけづらいのか分からないのですけれども、今年、それこそ12月とか1月

の前半、暖気があって、その暖気によって路面が穴空いたり、ざくざくになったり、走りづらくてどこ向かっていくか分からない、そのざくざくのところだけでも何とかきれいにならぬものかいという町民の声が何回かありまして、それは1月にも、上旬ですか、暖気するときにも同じようなことを言われまして、そうなる そうなったで削らなければならないということあるのですけれども、それもパトロールの中でというか、ざくざく感の大なり小なりってあると思うので、どこまでのというのは私も判断はつかないのですけれども、パトロールした中でこのざくざくはちょっとひどいなというところはやっぱりちょっと時間かかってもいいからめくってあげるとか、そういう多少の気遣いしてあげてくれれば少しまた、地球温暖化で暖気になるのが多くなるような気がしますので、またこれからも3月に向けてひどくなることもあると思うので、そういうときだけでもできるのであれば削っていただきたいなという要望がありましたので、要望です。

笹浪課長 年前と1月に入ってから町のところにも電話かかってきて、結構ありました。私もパトロール結構して歩いていますし、現場のほうでも見ていただいて、排雪と重なっているとか、除雪と重なっていてすぐ対応できないこともあるのですけれども、大体路面見て悪いところは次の日の朝とか削ったりとかしているのですけれども、それにどこもここもってなると追いつかない場面もあるのですけれども、なるべく走りやすいように道路は見て削っていますので、本当に悪かったら言ってください。ただ、一応はパトロールしながら路面状況の観察はやっていますので、交通事故起こしたら嫌なので、そういう面ではやっていますので、ご理解していただければなって思います。また、要望として承りますので、よろしくをお願いします。

村田議長 そのとおりだと思います。私もまたそういう声があったときには建設課としてもパトロールしてそういう対応していますと、それから先ほど言ったようにどうしても困っているときは電話くださいというのもそういう方々に伝えたいと思います。これは終わります。

もう一件だけ確認なのですけれども、今年、7年度に入る予定だったロータリ車がまだ入ってきていない、だから島にも代わりのものが行けな

いというようなことを聞いたのですけれども、それは受注生産で今シーズン間に合わないのか、これからのご時世としてそういう除雪機、除雪車の車両などを購入するとき1年前倒しで進んで予算づけして、要は消防車なんかでもそうなののですけれども、1年以上かかったりするということがあるから、令和7年度に使いたかったら2年前、令和5年度に予算づけをして除雪車を注文して、発注してできるまでの時間というのはそれぞれ、私もちょっと分からないのですけれども、今回はそんなようなことだということで聞いていますので、そこら辺は機械はやっぱりいつ壊れるか分からないですし、せっかく更新してよくなるというのであれば、計画どおり使えるのが一番いいのかなと思うので、そこら辺早く予算要求してやるという、前倒ししてやるということはできないのですか。そこら辺分からないので、もし分かる範囲で。

笹浪課長

現在買っているのは、交付金事業で買っていて、交付金は前年度から予算要求して買っていくのですけれども、現年度発注という形で買うものですから、前に買うというのは計画上うちのほうで組んでいかなければならないというものもありまして、交付金事業で買っていくのにはこういうふうになっていくのが仕方ないのかなという、ただ今回のロータリは2月後半から3月に入ってくるということみたいなのです。島のほうのロータリが今壊れて使い物にならないので、行ってはいないので、すけれども、北海道のほうでショベルとロータリを持っていつているものですから、何かあったときには貸していただけるようにうちのほうも協議して、一応そういう何かあったときのためのものは用意しているので、そのときは旧土木現業所というか、北海道のほうに借りますよということでは言っているのです、除雪自体には支障出てこないのかなと思いますので、その辺でやっておりますので。

村田議長

今の課長の説明でよく分かりました、島も一応困ってはいないというのです。そういう中で先ほどもお話しした商工会との意見交換の中で、そこにいる理事さんの方々の中に組合に入って除雪をやっている業者のほうから、昔は開発も土木もそうだったのですけれども、ある程度たった除雪車両を次に更新して、その古くなったやつを業者に払下げしてくれて、それを自分たち使えたけれども、今は役場もそうですけれども、目いつ

ぱい使って、今言った目いっぱい使ったやつまだ使えるから、ではどこかに払下げするのか、島に持っていくということぐらいやっぱり限界まで使うという状態なので、その要望の中では昔みたく払下げをしてくれると自分たち請け負っている会社としては非常に助かるのですって、中古を今買うにしても高くてなかなか手が出ないというようなことの要望もありましたので、これも非常に難しい話で、簡単に分かりましたってなるような話ではないと思うのですけれども、一応できる限りそういう部分で、私議員になったときから結構排雪とか、そういう除雪の機械はぼんと壊れたら、使えなくなったら町民とかに不便かけるので、なるべくそうならないように早め早めに更新してくださいよということは言っただけなんですけれども、それも事情があつてなかなかやりづらいというのも分かっているのですけれども、一応これも要望でそういう声がありましたので、要望として。

笹浪課長 今年ショベルも買っているのですけれども、ショベルも一応入札行為で売ってはいるのです。それをホームページ等にも載せていて、あと買う気があれば、そういう応募の仕方もあるのかなって、一応羽幌町に住んでいれば買えるよというものだと思うので、うちとしては払下げの売払いもしていますので、買って、もう要らない部分は入札として売払いしていますので、そういうのを見ていただければ買うことも可能なのかなとは思っているのですけれども。

村田議長 多分見ていると思うのです。それは、昔からやっていることだから、その機械が業者としては要らなかったのか、それは私も詳しいことは分からないのです。ただ、今のご時世の中で自前で要はそういう除雪の車両を買うとなると、すごく大変なのですって、もうからないので、人も雇えないし、ある業者は自分たちの代がいなくなったら運転手もいないし、買えないし、除雪もできなくなるわというような、そんなようなニュアンスの意見も出ていたりしてかなりシビアな綱渡り、自前で持ってやっている人方なのです。結構大変な思いして今も維持してくれているのかなという感じでは聞き取れたので、先ほど言いましたように要望ですので、終わります。

小寺委員長 ほかにございせんか。(なし。の声) ないようですので、先ほども課長の答弁があったとおり、これについては2月12日の臨時会で補正予算の議決がありますので、もし何か質疑があれば、その際にも言って議決のほうしていただきたいというふうに思います。

それでは、本日はこの1件ですので、以上で総務産業常任委員会を終了したいと思います。お疲れさまでした。